

登録コード:MH176100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	看護学概論（看護実践）【22M以降】 Introduction to Fundamental Nursing II (Nursing Practice)			
担当教員	浅野 美礼 他 小林 千世・山口 大輔・上原 文恵			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/1年 前期(集中) 木曜・3時限 木曜・4時限			
単位数、講義室	1単位	保健学科311講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH25カリ・保健・看護、MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		看護専門職者に必要な基礎的・専門的な知識・技能のうち、患者の権利と医療倫理、インフォームドコンセント、医療安全とヒューマンエラー、看護理論およびエビデンスに基づく看護の基本概念を修得し、これらをさまざまな状況における看護実践の理解と判断に活用できる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		変化し続ける社会で派生する多様な看護実践上の課題に対して、地域・国際的な視点から、看護の歴史・倫理・法・医療安全・看護理論およびエビデンスに基づく看護の視点を統合し、科学的・倫理的・道徳的・創造的に対応する方法を検討することで、ケアの質向上と課題克服に生涯を通じて取り組む力を培う。	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	本授業は看護学を学ぶ初めて専門科目として、学生自身が看護について説明できることを目指して以下の内容について理解を深めることを目的としています。 ・医療における倫理の考え方と看護実践との関係。 ・看護理論の種類。 ・理論と根拠に基づいた実践を結ぶ看護研究の意義。 この授業は、看護について系統的に学ぶ最初の授業となります。これ以降の各領域の講義、演習、実習で学ぶあらゆる事項の基礎知識となります。 本授業は、担当教員の医療施設や看護の教育現場における教育者および看護師としての実務経験を活かして講義を行います。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。			
授業計画	第1回（4月9日）医療倫理の入口 ― なぜ看護で倫理が重要なのか 第2回（4月9日）患者の権利・自己決定・インフォームドコンセント 第3回（4月9日）倫理を“行動”として支える ― アドボカシーと医療安全の入口 第4回（4月16日）医療安全とヒューマンエラー（仕組みとしての安全） 第5回（4月23日）看護理論の分類と“理論の使い方”総論 第6回（5月7日）看護理論（ナイチンゲール・ヘンダーソン） 第7回（5月7日）看護理論（オレム・ロイ・ペプロウ・ロジャース）とEBNの入口 【授業アンケートの実施】 第8回（7月30日）【期末試験】（1時限目） 看護学概論、コミュニケーション方法論と融合的に行うために、実際のスケジュールが時間割表と異なっていますので注意してください。			
授業の進め方	毎回、導入部分で講義をし、その後グループワークをします。 グループワークでは、積極的にディスカッションに参加し、他者の知見を得ながら自分の意見を形成して学びを深めてください。 毎回、学習事項を踏まえて考察する課題を出します。授業終了後から次の授業までに、小レポートとして提出してもらいます。 開講期間内に教科書は通読しておくことを推奨します。			
テキスト、教材、参考書	テキスト ・看護学概論 看護追及へのアプローチ(第4版) 医歯薬出版 その他、各回のディスカッションに用いる資料をeALPSにも掲載します。			
成績評価の方法	各回の小レポートの合計点を25点満点に換算したものと期末試験を75点に換算したものを合計して100点満点で評価したとき、60点以上を合格とします。 期末試験では、医療の倫理の考え方、看護理論の種類、看護理論の機能、看護研究の意義についての理解度を確認します。期末試験の結果についてはフィードバックします。			
成績評価の基準	成績評価の判定基準は、下記の通りとします。 秀：100～90点、優：89～80点、良：79～70点、可：69～60点 期末試験の設問は、教科書および授業で例示した同じレベルの問題（「水準にある（可）」）、基礎知識を結び付ける応用問題（「やや上にある（良）」）、やや難しい応用問題（「かなり上にある（優）」）、かなり難しい発展的な問題（「卓越している（秀）」）			

成績評価の基準	で構成し、達成度を測定します。
事前事後学習の内容	本授業の単位取得には45時間の学習であるため、以下の学習時間が必要になります。 授業時間15時間（2時間×7.5回）＋事前・事後学習30時間（2時間×7.5回＋2時間×7.5回）＝45時間 ・事前学習 指定されたテキストの講義範囲を精読し、わからない用語や概念等について調べておいてください。 eALPS上の動画があればそれを視聴してください。 ・事後学習 各回で小レポートを課すので、考察したことを示された期限までにeALPSで提出してください。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	患者の権利を守るために必要な知識と方法を自分の言葉で説明できるようになりましょう。 また、看護職を目指してどのように学習を進めるのか、何を学ぶのかについて自分の考えを明確にしましょう。 看護の実践に必要な人間関係の構築やコミュニケーション、根拠に基づいた意見の構築を身につけましょう。 大学生の学習の基本的な作法を身につけましょう。 質問への対応：浅野美礼 millet@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時対応しますが事前に連絡をください。 保健学科棟中校舎4階 浅野研究室